

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社人形劇団むすび座
公演団体名	人形劇団むすび座

内容
まず、お互いの緊張感を解きほぐして、心と体を解放するワークショップを実施します。心と体がほぐれたところで、本公演で共演するための、かくれ山に住む妖怪の人形を、各自の発想で作ります（作成キットは、こちらで用意します）。作成した人形の動かし方や表現方法をレクチャーし、共演のシーンを練習します。

タイムスケジュール（標準）
心と体の開放（10分） 人形作り（35分） 休憩（10分） 人形作り（15分） 人形の動かし方・共演シーンの練習（30分）

派遣者数
2人

学校における事前指導
ワークショップ実施前に歌の練習用のCDをお送りしますので、あらかじめ歌の練習しておいていただきますようお願いします。 人形は、かくれ山に住む妖怪、「天狗」「山姥」「鬼」の3種類の中からひとつ選んで作ってもらいます。あらかじめ妖怪のデザインをお送りしますので、自分がどの人形を作りたいか決めておいてもらえると、ワークショップ当日の流れがよりスムーズになります。どの人形も基本の材料は同じですので、当日変更しても大丈夫です。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社人形劇団むすび座
公演団体名	人形劇団むすび座

<b>演目</b>
『かくれ山の大冒険』  原作／富安陽子『かくれ山の冒険』（PHP 研究所刊） 脚色・演出／北村直樹、美術／福永朝子、音楽／ノノヤママナコ（マナコ・プロジェクト）、 照明／若狭慶大（藤井照明）、歌唱／いずみ、制作／木田幸代・磯崎友子

<b>派遣者数</b>
キャスト5人 スタッフ1人 合計6人

<b>タイムスケジュール（標準）</b>					
到着	仕込み/リハーサル	本公演 (共演シーン含む)	内休憩	撤去	退出
9時	9時～11時30 /11時30分～12時 15分	13時30分 ～14時50分	なし	15時～ 16時30分	17時

<b>実施校への協力依頼人員</b>
座席などの消毒作業がある場合は、ご協力をお願いします。

## 演目解説

### <あらすじ>

夕暮れ時。怪しい黒猫に誘われ、くろぐろとした『かくれ山』の奥深く迷い込んで行く少年ナオ。そこは時間の流れから外れた、妖怪たちの住む魔界でした。妖怪・猫婦人の屋敷には、魔法の力で猫の姿に変えられてしまった人間の子どもたちが奴隷の様に捕らえられており、ナオもまたその一人になってしまいます。

恐ろしい猫婦人の魔法から解き放たれるには、天狗のかくれみのと鬼の雷の剣を手に入れ、子どもを食う山姥の目玉を奪い、猫夫人の弱点を聞き出さなければなりません。

「そ、そんなの、ぼくにはできない〜！」「ありえない〜！」ナオの味方はシッポの折れ曲がった小さなネズミー匹。

弱気なナオと相棒のシッポ折れネズミは、わずかな知恵と米粒ほどの勇気を絞って、困難に立ち向かっていきます。

### <みどころ・セールスポイント>

シンプルな舞台様式の中に、人形劇ならではの「モノ」を活かした表現を駆使し、子どもたちの想像力を引き出すための工夫がたくさんあります。フラフープをネズミの住む穴の入り口に見立て、その穴が神出鬼没に現れたり、△や□のパネルと布だけで、ドア、窓、山、妖怪の住む岩屋などの情景をテンポ良く多彩に表現します。キャスト5人と思わせない、スピーディーな演出。1体の人形を複数人で操り、まるで人形が活着しているように動く様子は目を見張るものがあります。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

児童・生徒は、かくれ山に住む妖怪役として、事前に自分たちが作成した人形を遣って、公演のラストシーンで共演します。かくれ山の平和を乱していた化け猫が元に戻り、ネズミや妖怪たちが平和を喜んでいるシーンに自作の人形を持って出演し、テーマソング「シッポ折れネズミのブルース」を歌い一緒に喜びを分かち合います。

## 児童生徒とのふれあい

実施校の希望により、以下のような体験もできます。

- ・人形・舞台セットの構造や動かし方の説明、質疑応答コーナー等を設け人形劇の面白さを感じてもらいます。
- ・各自が作成した人形を持ち、他の児童・生徒のお見送りを体験することもできます。
- ・俳優が登場人物の人形と共にお見送りをし、人形や役者を身近に感じてもらいます。